

つじまつ COMMUNICATION

22

つじまつコミュニケーション: 築地松情報誌2006.3月 発行一築地松景観保全対策推進協議会

大切な燃料であったし、たき火した後の灰は田んぼや畑の肥料にもなった。築地松は防風林の機能にとどまらず、民家の暮らしを支える貴重なものであったのだ。近年の生活様式はめまぐるしく変化し、そのような日々の暮らしを忘れさせている。



現在の子供たちにとっては不要なゴミにしか思えない、屋敷森である築地松の落ち葉であるが、昔の暮らしの中には風呂を沸かすにも、飯を釜で炊くにしても、

「じいちゃん、いつもゴミを集めているね。」
祖父が松の落ち葉（こで）を掃いているかたわらで、孫たちが声を掛ける。
「この落ち葉はいまではゴミなんだが、わしがお前たちの年頃では、この家にとって大切な『自然からの贈り物』だったんだよ」
「どうしてゴミが大切だったの？」

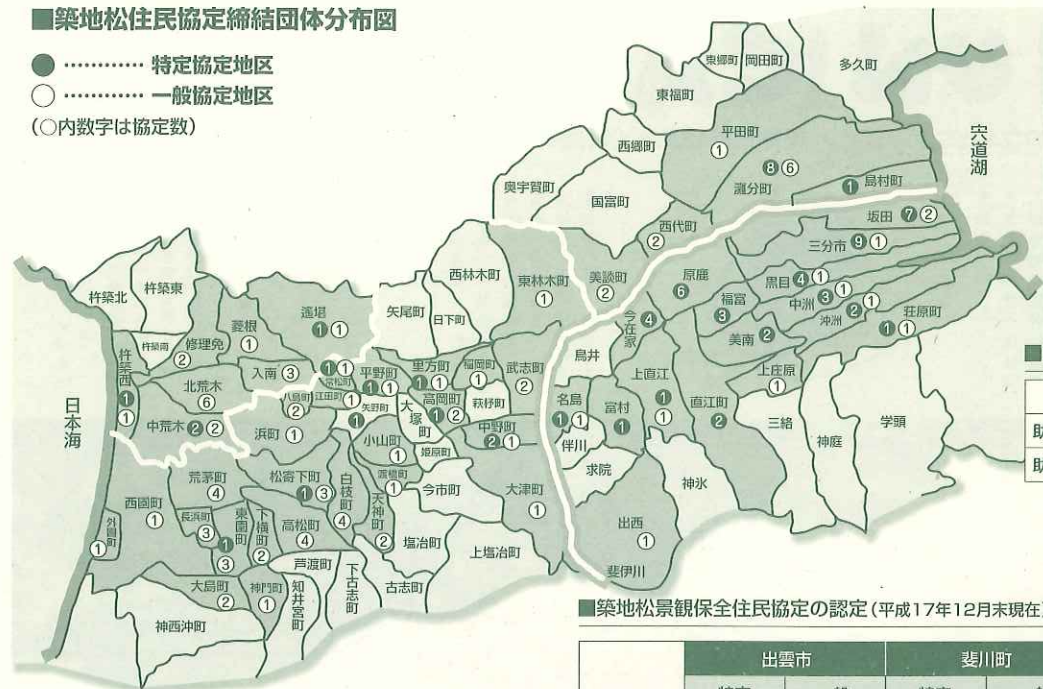


築地松景観保全住民協定の認定状況について

築地松景観保全住民協定は、築地松景観を保全するために、一定の区域の住民に協定を結んでもらい、その住民協定に基づいて行う築地松の維持管理費に対して助成をする制度です。

■築地松住民協定締結団体分布図

● 特定協定地区
○ 一般協定地区
(○内数字は協定数)



■築地松助成金の交付(平成17年度)

	出雲市	斐川町
助成人数	128人	212人
助成額	2,637,890円	4,117,660円
合計/助成人数	340人	
助成額	6,755,550円	

■築地松景観保全住民協定の認定(平成17年12月末現在)

	出雲市		斐川町		合計		全合計
	特定	一般	特定	一般	特定	一般	
協定数	23	72	47	11	70	83	153
構成人数	630人	1,149人	1,172人	241人	1,802人	1,390人	3,192人
所有者数	452人	892人	780人	158人	1,232人	1,050人	2,282人
面積	583.94ha	787.24ha	1,293.70ha	238.50ha	1,877.64ha	1,025.74ha	2,903.38ha

合計/協定数:153 構成人数:3,192人 所有者数:2,282人 面積:2,903.38ha

築地松保全のための助成金制度について

築地松景観保全住民協定を結んでいる築地松所有者が、協定に基づいて行う築地松の維持管理に要する経費を助成します。

区 分	内 容	
築地松対象基準本数	2本以上	
住民協定種別	一般住民協定	特定住民協定
助成対象経費	次の経費とする ①築地松の剪定 ②松くい虫による枯松伐倒及び新植・補植 ③松くい虫防除(②を除く)	
助成年度	毎年	毎年
助成率	助成対象経費の1/3以内	助成対象経費の1/2以内
助成限度額	50千円(4年間の合計額)	80千円(4年間の合計額)
費目別限度額(4年間の合計)	個々に設定	
剪定	30千円(4年間の合計額)	45千円(4年間の合計額)
枯松伐倒及び新植・補植	30千円(4年間の合計額)	45千円(4年間の合計額)
松くい虫防除(枯松伐倒等を除く)	30千円(4年間の合計額)	45千円(4年間の合計額)

注意とお願い

- 「枯松伐倒」費への助成は、伐倒後必ず補植することが条件です。
- 助成金を申請する際には、維持管理に要した領収証(写)とあわせ、管理の前と、後の写真が必要です。(防除の場合は、防除剤注入中の写真)
- 助成金は、助成対象費目ごとに千円未満は切り捨てとします。

景観保全活動の支援継続を県に要望!



澄田知事に陳情書を手渡す伊藤繁満推進協会会長

3月28日、協会の会長、副会長、幹事の7名で県知事を訪問。平成19年度以降見通しが立っていない県の助成金の継続を求める陳情書を手渡した。

「今まで通りのご支援を」との訴えに、知事からは「皆さんのご努力に心から敬意を表します。築地松は子孫に遺したい、世界にひとつだけの島根の宝。地域行政と一体になり、全力をあげて支援したい」と、回答をいただいた。



～総合学習で築地松を学ぶ子どもたち～

見て、聞いて、触れて知った築地松のすごさ

「昔はいっぱいあったけど、今はほとんどなくなったが」という一言で、私達は故郷の宝を見過ごしていませんか。築地松は世界に一つだけの景観。ここでしか生まれ得なかった知恵の結晶であり、故郷の誇りなのです。子ども達はこの故郷の誇りを、懸命に学ぼうとしています。

五感で感じた築地松(湖東中学校)



風格ある築地松を見上げながら勝部正則さんの説明に聞き入る

平成17年11月10日、松江市立湖東中学校3年生の坂根彩華さん、曾田佑季さん、廣江李子さんの3人が築地松を取材に訪れました。築地松をテーマに選んだのは、廣江さんが斐川町の祖母の家の近所で見て気になっていたため。築地松に触れてみたいと賛同した2人と共に挑んだ取材というわけです。

取材先の斐川町原鹿の勝部正則さん宅で、美しく刈り込まれた築地松に直面した3人はしばし呆然。勝部さんの説明が始まると真剣な面持ちでメモを書きとめていました。

裏庭の雑木林が築地松の原型だという説明は、新しい発見だったようで取材にも力が入っていました。

屋敷側と外側の違いを確かめたり、写真撮影をしたり忙しい3人からどよめきがもれたのは、松くい虫防除用の樹幹注入の値段を聞かされた時。「私の家だったら破産するかも」と率直な感想。最後は松の命を感じるように樹肌に何度も触れていました。



「屋敷側は外側と違って枝が刈り取ってあるんだね」と新たな発見



取材メモで埋めつくされた取材ノート。おつかれさまでした



子ども達を見つめる坂本さんの眼差しは温かい

心にしみ込んだ陰手刈りさんの言葉(荘原小学校)

平成17年12月1日、斐川町立荘原小学校五年生の森脇啓史くん、池淵貴志くん、周藤智也くん、高橋剣くんが総合学習「きらり」の一環で“ふるさとの名人名さがし”の対象として築地松の剪定職人「陰手刈りさん」の取材に出かけました。まずは役場で築地松について説明を受け、次は取材地の斐川町三分市の中浜定夫さん宅へ。取材対象は中浜さん宅で陰手刈りを行う坂本芳友さんです。坂本さんは開口一番「あんたがたが、おせに(おとなに)ならいたら、松が一番喜ぶ防除を考えてくれたらいいがな～」とニコリ。その言葉を残して7メートルの松に登り、天辺

で松のしなりにあわせて枝を刈っていきました。「こわーい、僕にはできんわ～」と子ども達からは小さな悲鳴がもれました。

時折手を止めて作業のポイントを説明する坂本さんとうなずく子ども達。その様子は築地松を守りたいという強い思いが、子ども達の心に染み込んでいくようにも思いました。

松ぼっくりと剪定後の松の枝をお土産に、子ども達は「僕達の町にこんなすごい名人がいるってビックリ。大変な作業があつてあんなにおもしろい形ができるんだね。」と意気揚々。陰手刈りの作業を目の当たりにして、築地松をさらに身近に感じてくれたようです。



はしご登りも足どり軽く。子ども達から「すげー!」と感嘆の声

「陰手刈り職人 坂本さんのメッセージを届けたい」

平成18年2月16日、校内の公開授業で取材内容を発表。イラストや写真、厚紙で手作りした陰手鎌(のうてがま)、のこぎりを披露。クイズも交えて、友達や集まった保護者から関心を集めました。まとめには「きつと、坂本さん(陰手刈り職人)は斐川町の築地松を大切に守って欲しいと(僕達に)伝えたかったと思います」ときっぱり。実はこのことが取材で最も心に残ったことだと発表後に話してくれました。



手づくりの陰手鎌とのこぎりを手に、ハイ、ポーズ!

出雲広域ウォーキングマップに築地松コース登場！



島根県観光振興課発行のウォーキングコースマップ『出雲路を歩こう〜出雲国風土記の旅〜』に、築地松の景観と、出雲国風土記ゆかりのスポットを楽しむコースが紹介されています。

JR直江駅を発着点に、今在家、原鹿などを巡る全長13.2km、所要時間およそ3時間半のコース。築地松に守られた屋敷が点在するこの地方独特の農村風景をたっぷり味わえるコースとなっています。

迷いやすい路地を写真入りで説明。
このマップを片手に、歩いているウォーカーさんを見かけたら、ぜひ声をかけてみてあげてくださいね！

コース内にある観光スポットや見どころが紹介されています。
斐川町コースでは、町内屈指の築地松も。



築地松景観保全対策推進協議会の組織体制

島根県土木部都市計画課景観政策室

〒690-8501 松江市殿町8番地

電話 0852-22-6143

島根県出雲県土整備事務所建築部建築グループ

〒693-8511 出雲市大津町1139

電話 0853-30-5660

出雲市都市整備部まちづくり推進課景観係

〒693-8530 出雲市今市町109-1

電話 0853-21-6741

斐川町環境政策課環境政策係

〒699-0592 斐川町大字庄原町2172

電話 0853-73-9256

ついじまつホームページアドレス <http://www.pref.shimane.jp/section/toshikei/keikan/tsuijimatsu/>